

京都府漁海況情報

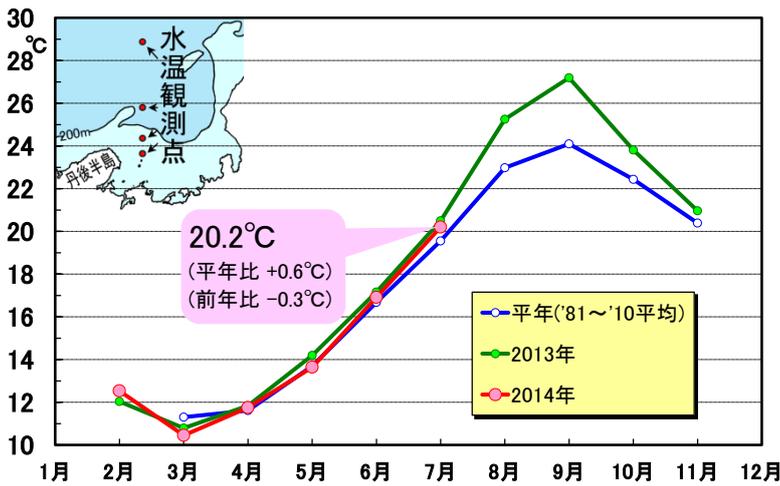
海の状況

京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>
 電話：0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

【現況】

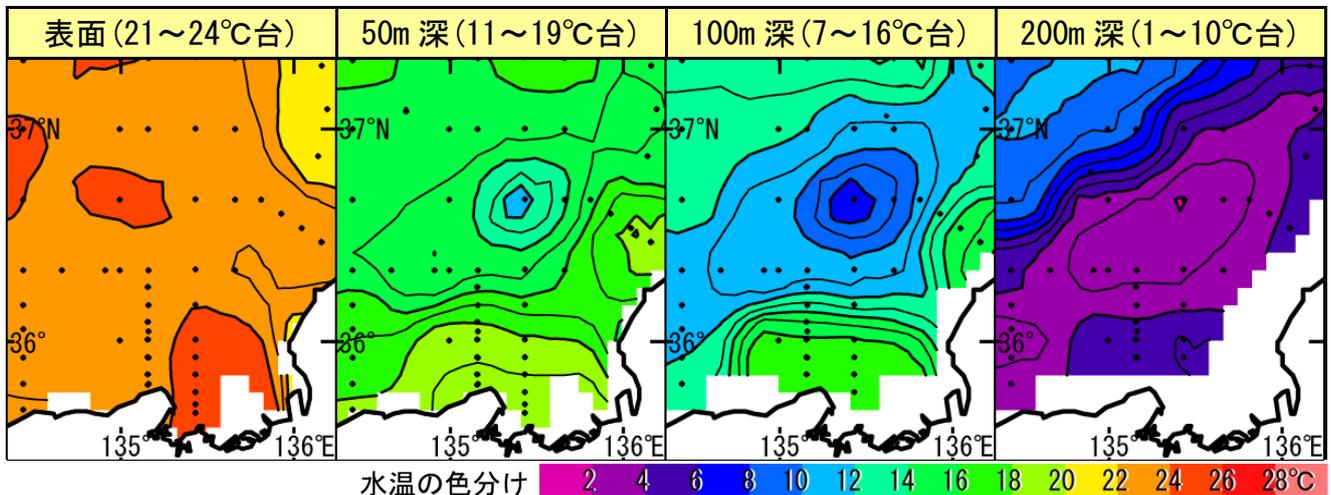
7月上旬における京都府周辺の表層水温は、やや高めで推移していました。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2014年7月上旬)

資料元：(独)日本海区水産研究所



【今後の見込み】

資料元：気象庁, (独)日本海区水産研究所

向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年より高め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年並みか平年より強め」で推移する見込み
沖合からの冷水域の張り出し※	「平年並み」で推移する見込み

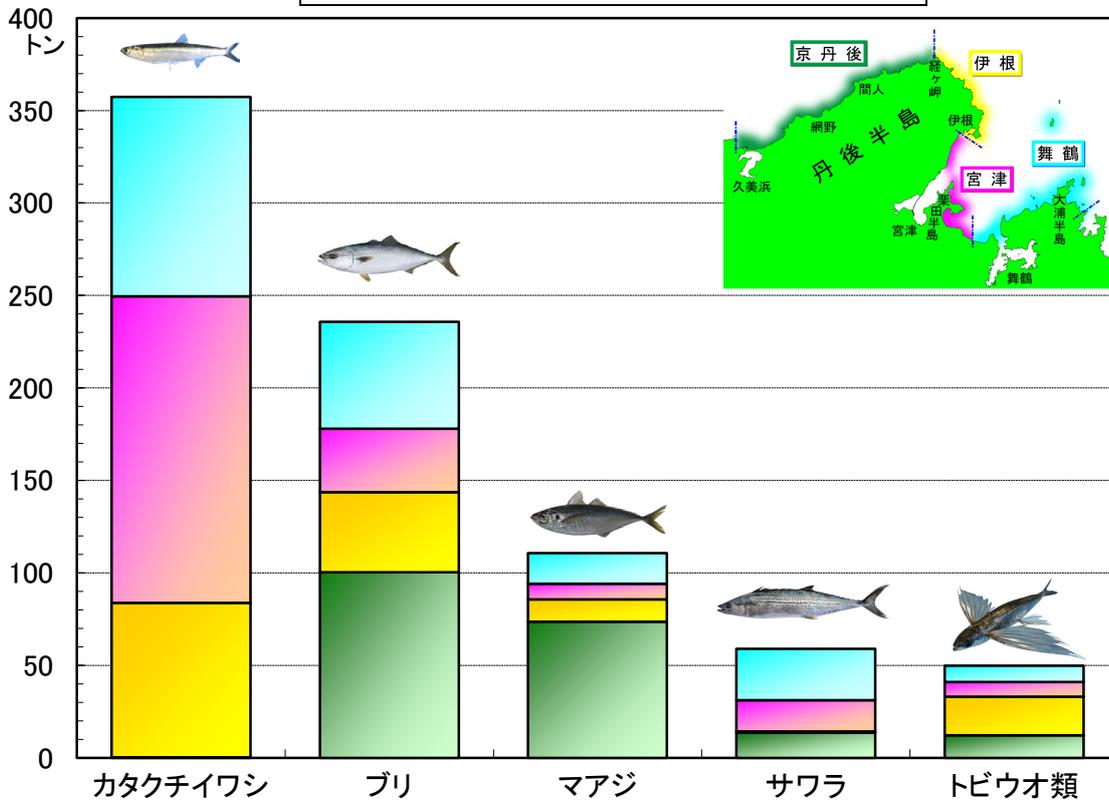
※冷水域の張り出しが強いと、対馬暖流域に生息するブリなどの浮魚類が沿岸に来遊しやすと考えられています

漁模様 ～2014年6月～

【定置網漁業】

ブリやサワラが好漁でした。全体の水揚量は、平年の8割強（前年の9割）でした。

2014年6月の地域別漁獲量(上位5魚種)



6月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2014年	2013年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ <small>(たれ)</small>	357.4	514.9 (69%)	333.0 (107%)	<カタクチイワシ> 体長 5～8cm 台の小たれ銘柄が主体でした。
ブリ	235.7	62.8 (375%)	64.2 (367%)	<ブリ> つばす銘柄(尾さ長 39～44cm 級中心)が9割以上で、ぶり、まるご、はまち銘柄は合わせて1割未満でした。
マアジ	110.7	116.2 (95%)	399.6 (28%)	<マアジ> さごし銘柄(尾さ長 45～52cm 台主体)が9割強、より大型のさわら銘柄が1割弱でした。
サワラ	58.9	19.9 (296%)	35.5 (166%)	<サワラ> ケンサキイカ(白いか)が9.2トン、スルメイカ(胴長6～9cmの伸子いか銘柄主体)が3.7トンなどでした。
トビウオ類	49.8	130.6 (38%)	94.5 (53%)	
スズキ	16.0	9.2 (173%)	10.8 (147%)	
イカ類	13.9	65.4 (21%)	40.9 (34%)	
カマス類	12.6	25.5 (49%)	18.4 (69%)	
マグロ類	5.5	0.8 (707%)	6.0 (91%)	
タイ類	4.7	5.3 (88%)	6.6 (70%)	
その他	35.7	40.7 (88%)	79.9 (45%)	
合計	900.8	991.4 (91%)	1089.5 (83%)	

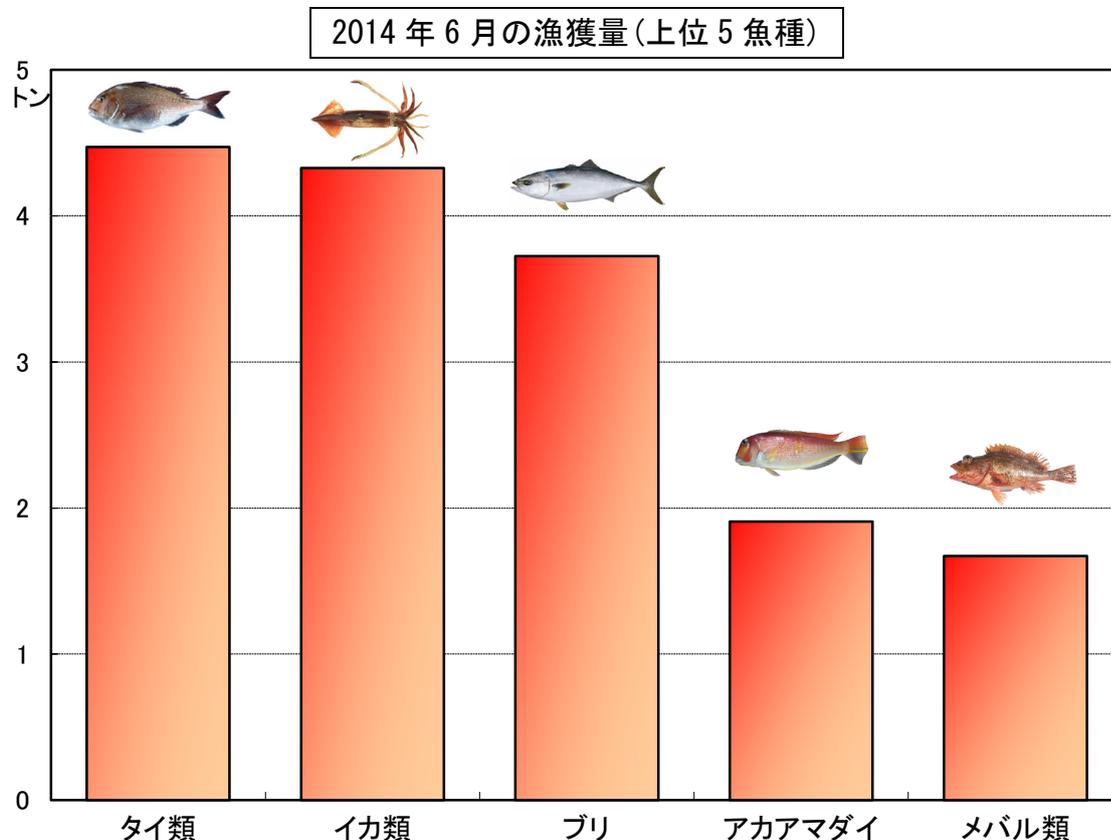
平年は過去10年平均

【底曳網漁業】

資源保護のため、6月初めから8月末まで休漁です。

【釣り・はえなわ漁業】

全体の水揚量は、平年の6割（前年の7割強）でした。



6月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2014年	2013年(前年比)	平年(平年比)	備考
タイ類	4.5	5.6 (80%)	3.7 (120%)	<タイ類> マダイが6割強, キダイ(レンコダイ)が3割強, クロダイとチダイが若干量でした。 <イカ類> スルメイカが3.1トン, ケンサキイカ(白いか)が1.2トンなどでした。 <ブリ> まるご銘柄が5割強, つばす銘柄が2割強, ぶり銘柄が1割強, はまち銘柄が若干量でした。 <サワラ> ほとんどがさごし銘柄で, より大型のさわら銘柄は若干量でした。
イカ類	4.3	7.6 (57%)	14.5 (30%)	
ブリ	3.7	5.6 (66%)	2.9 (130%)	
アカアマダイ(ぐじ)	1.9	1.7 (110%)	2.0 (98%)	
メバル類(もいお)	1.7	2.5 (66%)	2.3 (73%)	
サワラ	1.5	0.1 (1052%)	2.2 (69%)	
カレイ類	0.4	—	0.5 (80%)	
ヒラマサ	0.2	0.1 (208%)	—	
タチウオ	0.2	0.4 (48%)	0.8 (20%)	
スズキ	0.1	0.3 (50%)	0.4 (33%)	
その他	2.7	4.0 (68%)	5.3 (52%)	
合計	21.2	28.0 (76%)	34.6 (61%)	

平年は過去10年平均